

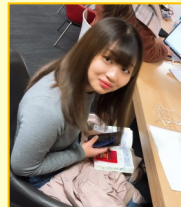
学習風景

学生たちは、日々一生懸命学習に取り組んでいます。



←TAFE Meadowbank キャンパス内にある Learning Centreではスピーキングやライティングなどのワークショップが無料で定期的に行われており、TELCの学生も参加可能です。

授業が始まる前や放課後にGCAオフィス前で自習する学生たち



NSW州立図書館は、美しく荘厳な建物が印象的なオーストラリア最古の図書館です。他の利用者たちが、皆黙々と仕事や勉強をしているので、勉強がはかどるそうです。

ショッピングセンターのフードコートで勉強する学生もいます。

TAFE本科便り

7月にTAFE本科へ進学した12期生たちの様子を今号よりご紹介します。



辻 麻美
Certificate 3 in Captive Animals
TAFE NSW Richmond Campus

<コースについて>

週2日座学の授業があり、オーストラリアの動物園や水族館に関する法律、動物の扱い方や動物保護の現状などを学んでいます。また、授業の一環で、動物園でボランティアをしています。

<何が楽しくて、何が大変か？>

留学生同士は仲が良く、英語を話す機会が多いので、会話力が伸びたことを実感でき満足していますが、現地の学生の会話のスピードが速くて慣れません。また、動物園のボランティアを自分で探さないといけないので大変です。

<TELCに在る間にやっておくべきこと>

EAPでレベルの高い授業を受講できたこと、レポートの書き方を詳細に学べたことが、今とても役に立っています。また、留学生と現地の学生では話す速度が全然違うので、TELCに在る間から現地の人と少しでも多く会話する機会を設けることをお勧めします。

<将来について>

TAFE本科修了後、オーストラリアの大学で環境に関するコースを専攻し、日本で環境系の企業で働きたいです。



中西 里菜
Diploma of Travel and Tourism Management
TAFE NSW Northern Beaches Campus

<コースについて>

観光学に関する法律や予算の算出方法を学んでいます。クラスメートの3割ほどが留学生で、女性が圧倒的に多いです。年齢は10~20代が多いです。

<何が楽しくて、何が大変か？>

自分が興味のある観光について英語で学べることはとても楽しいです。一方、現地の学生やTAFEの先生方の英語のスピードが速くて何を言っているか聞き取れなかったり、グループディスカッションなどで自分の意見を言うのが難しく、積極的に参加できない時は辛いです。

<TELCに在る間にやっておくべきこと>

TAFE本科に行って、TELCの先生がいかにゆっくりで分かり易い英語を話してくれていたかということを実感しました。英語を話すスピードが速い人ともっと話して慣れておけば良かったと思いました。また、ニュースを見て一般知識を増やすだけでなく、そのことが観光業にどのような影響を及ぼすかを日頃から考えておくのと良いと思います。

<将来について>

観光に携わる仕事をしたいです。

Excursion

8月13日(火)に全クラス合同でマンリービーチを訪れました。



↑ 浜辺で相撲を取る学生

GIL

TELC主催のGILが“Guided Independent Learning”から“Great Interesting Learning”に名称を変えてスタートしました。今までは英語の各技能の指導でしたが、今後はSteve先生とのディスカッションやゲームを通してスピーキング力の向上を目指します。毎週月曜日の放課後に希望者のみが参加します。



↑ 英語を話すスピードが速いSteve先生との会話に慣れておくと、TAFE本科の授業などで役立ちます。この日は、ドキュメンタリービデオを見て、それについて各々が意見を述べる練習をしました。

第3回個人面談

8月14日(水)から第3回個人面談を始めました。今回は主にTELC修了後の進路について話しています。



12期生便り



中山 はる香
長野県立
飯田風越高等学校
(長野県)

シドニーへ来て、4ヶ月が経とうとしていきます。こちらの生活にもだいぶ慣れて、充実した日々を過ごしています。留学して楽しいことは、毎日大好きな英語に囲まれて過ごしていることです。どこを見ても英語のサインが見え、耳を澄ませば英語がどこからでも聞こえてきます。シドニーは多文化都市なので、中国語や韓国語、アラビア語が聞こえてくるのも楽しいです。留学して辛いことは、英語力がなかなか思うように伸びないことです。英語に囲まれていれば

自然と身についてくるという甘い考えでシドニーに来ましたが、自分の英語力の低さを授業中や日々の生活で痛感します。TAFEではホスピタリティを専攻し、将来の夢に向かって勉強したいと考えています。将来はホテルのスタッフかレストランのウェイトレスとして働き、お客様に最高のおもてなしをして、たくさんの笑顔を見たいです。今は日本食レストランでホールスタッフとして働いています。英語で接客ができて、将来の夢に一步步近づいていることを実感しています。これからもっと英語に触れて“日本語のように英語を使えるようになる”という自分の目標達成に向けて過ごしていきます。



佐藤 陽菜
宮崎県立
延岡星雲高等学校
(宮崎県)

私が留学して良かったと思うことは二つあります。一つ目は、自分自身が大きくなったことです。オーストラリア人はのんびりとしていて、人がとても優しい上に心が広いと思います。だから、私も小さいことでとやかく言ったりすることがなくなりました。二つ目は、気候が良いことです。私の出身地である宮崎県は、海が近いせいか天気の良い日が多く、常に偏頭痛を起こしていました。シドニーは晴れの日が多いため、渡豪してからは偏頭痛が全くなく、毎日快適に暮らせています。オーストラリアに来てから4ヶ月が経ちましたが、いまだに悪いところが見つかりません。

私はTELCを卒業した後は、Hotel Managementを専攻しようと思っています。この決断に至るまで、ずっと何がしたいのか迷っていましたが、いろいろ考えてこの道を進みたいと思いました。TAFEでは、この分野を必死に勉強して究めたいと思っていますが、勉強だけでなく、バイトやレジャーも楽しみたいです。TELCでは、進級する毎に内容が難しくなる一方ですが、英語力を伸ばせる環境にいるので、前向きに頑張っていきたいと思っています。